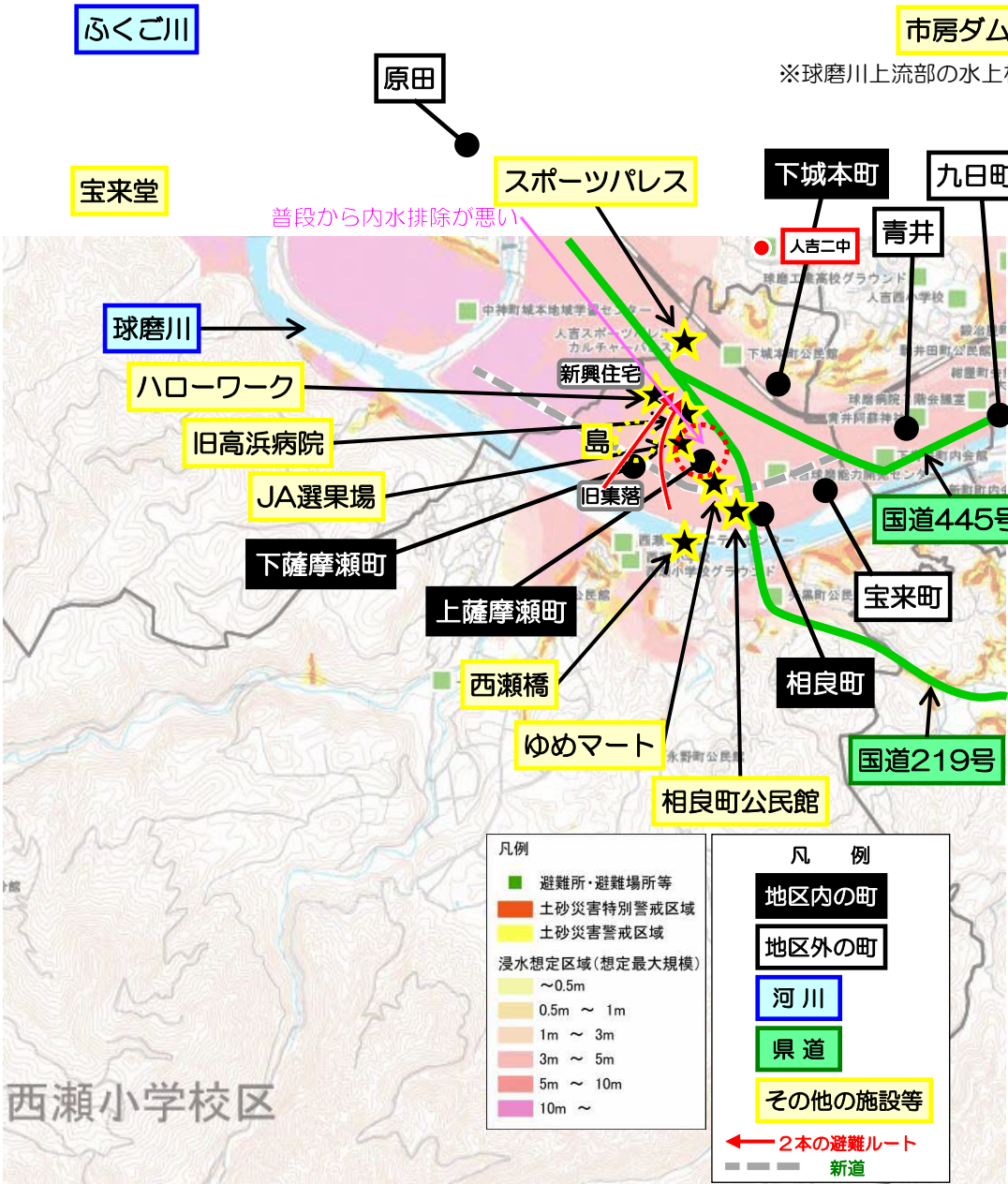


第2回 校区別座談会【3/24西瀬校区】の意見まとめ①

薩摩瀬町等（相良町、上薩摩瀬町、下薩摩瀬町、下城本町）

■避難所・避難場所、災害リスク図



※出典：
・避難所・避難場所等：人吉市総合防災マップ
・土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域：国土数値情報
・浸水想定区域（想定最大規模）：
 八代河川国道事務所提供資料（球磨川本川）
 熊本県提供資料（万江川、胸川）
※上記以外の河川については浸水想定区域が未公表

【川北：右岸地区の重点地区（案）への意見】

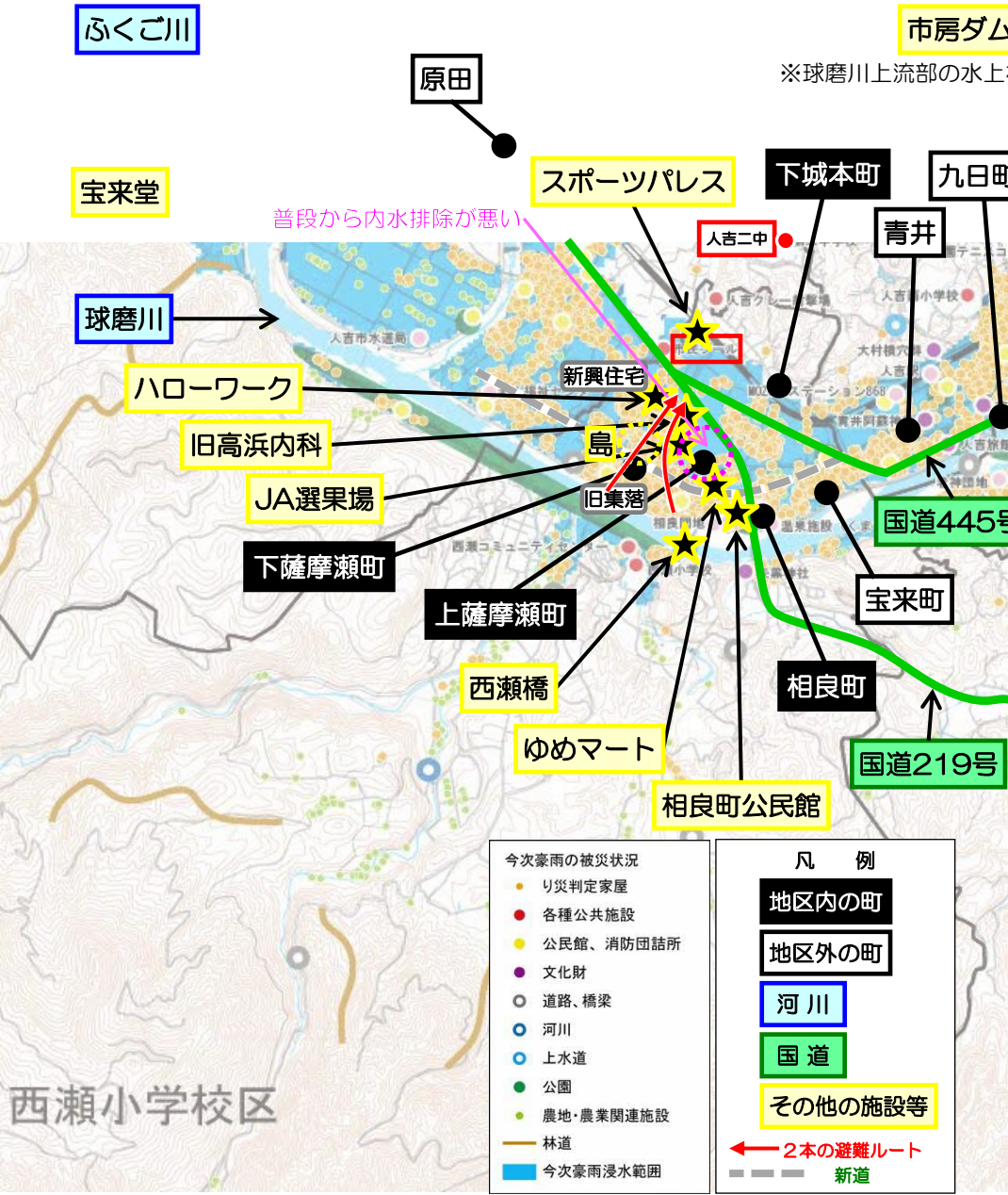
- ・住民個々の話になるのか、代表者を作っての話になるのか。
- ・これからを担う若者は無視できない。リモート会議の方が集まるより話し合いができるのではないか
- ・町内単位で話合う方が色々な意見（本当の住民の声）が出てくると思う。

※第2回校区別座談会における参加者による意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

西瀬校区の主な課題や要望について	
生業 再建 住まい 再建	復興まちづくり ・全面的に盛土することはあるか？【下薩摩瀬町】 ・浸かることは覚悟の上で再建する人が多い。【上薩摩瀬町】 ・再建のために代替地が用意されるなら別だろうが、各戸で盛土する人、しない人、様々だ。 ・今後数年のうちにまた浸かるのなら、リフォームせずにどこかへ行こうかとも思う。 ・ハローワークの所の新道より北側は新興住宅で、現地でリフォーム（嵩上げてまでという感じではない）、川沿いの旧集落で昔からの住人は危機感を持っているので公費解体が多く、次に計画に合わせてどうするか状況を見ており、町内でも温度差がある。【下薩摩瀬町】 ・そのまま再建して水に浸かれば保険で対応するという青井の人の話を聞く。 ・水害の保険をかけている人が多い。【相良町】 ・今回の水害を反映した保険料改定では、保険料は今よりもっと高くなるだろう。 ・高齢者や保険に入っていない人は、建て直しやリフォームができない。 ・現在、仮設住宅では以前のコミュニティがバラバラで、町内が機能していない。町内をいかに機能させるかが課題である。【上薩摩瀬町】 ・まず集まる、住民の生きる機会を作る、話し合うことが必要である。 ・半数近くの方は仮設の移転先を知らせてこないの、どうしているかわからない【上薩摩瀬町】 ・仮設住宅にボランティアが入り、一軒ずつアンケート調査をしてくれた（集約中）。西瀬校区川北なら頼めば調査してくれると思う。集まるのも良いが、アンケートもアリだと思う。【上薩摩瀬町】 ・仮設公民館を作っており、この前、デイサロンを開いたら10人ぐらい来てくれた。【上薩摩瀬町】 ・コロナが終われば、まだ空地があるので上薩摩瀬町の住人を呼んでバーベキューを考えている（ボランティア団体がやってくれる）。会議よりも自由な意見が出るのではないか。【上薩摩瀬町】 ・5月から6月にアンケートをする予定。【相良町】 ・公園がなく、解体後の更地が増えている。更地を市が買い上げて公園にできないか、子供も喜び、地主も喜ぶだろう。【下薩摩瀬町】 ・再建に向けた国・県・市の方針がまだ出ていないので、どうするか決められない。【上薩摩瀬町】 ・嵩上げするなら早く伝えてほしい。同じ地域内でも、個々で嵩上げする、しないがあり、地域で再建の意見統一は難しい。【上薩摩瀬町】 ・球磨川沿いは浸かることを覚悟の上で、恐らく9割の家は残ると思う。【上薩摩瀬町】 ・被災地では、今後建築への規制はあるのか？
治水 環境共生	・他の地域では土砂堆積が40～50cmと言われているが、下薩摩瀬町では2～3cmしかない。球磨川からの水ではなく、内水、雨水による浸水で、水は九日町の方から来た。【下薩摩瀬町】 ・国道は新道も旧道も川の役目をして、九日町など上流側の街中から水が出て、床下浸水した。床下浸水など今まで考えられなかった。【下城本町】 ・川ごとに排水機能を持たせ、小さい川から球磨川に流す排水計画を立てるべき。【下城本町】 ・増水最大時には、ふくご川の水位はまだ1mぐらい下を流れていた。どこかでふくご川に道路から水を落とすような排水路を作っておけば、もっと水位は下がっただろう。【下城本町】 ・予想以上の水の増え方をした。なぜ早く濁流が押し寄せたのか、理由を知りたい。【下薩摩瀬町】 ・市房ダムは放流後1時間～1時間半で水が来るから危険だと認識（消防団）しているが、今回はかなりの放流量だったと思う。【下薩摩瀬町】 ・放流量は6時過ぎにMAX609m³/sで、その後1時過ぎまで500m³/sが流れていた。
その他	・高齢の親は人吉在住、子供は他所居住で、今は助けに帰って来る人もいる。親の考えを聞いておれば、子供がリモートで代理参加できる。【上薩摩瀬町】 ・3月23日にスーパーシティ構想の説明会があったが、それよりも当面の課題が先決、皆言いたくてたまらない。【下薩摩瀬町】 ・スーパーシティになればスマホを使えない人はどうするのか？ ・子供会の連絡はLINE利用。【下城本町】 ・コロナを考えると町内で集まるのは難しいし、集めたくない。去年は役員会を2回書面で開催している。時間帯も問題（昼が良い人もおれば、夜が良い人もいる）だ。【相良】 ・住民個々の話になるのか、代表者を作っての話し合いになるのか。【下薩摩瀬町】 ・会議はズームでリモートにできる。慣れている人や若者は、集まれというよりも話し合いができるのではないか。これからを担うのは若者、無視はできない。【上薩摩瀬町】 ・町内単位で話し合う方が色々な意見が出てくると思う。まとまらないかもしれないが、それが本当の住民の声である。【下薩摩瀬町】

※第2回校區別座談会における参加者による意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

令和2年7月豪雨による被災状況図



※出典：
・り災判定家屋：り災判定（令和3年2月上旬時点）
・各施設：庁内資料（被害報告）
・今次豪雨浸水範囲：八代河川国道事務所提供資料（球磨川本川のみ）

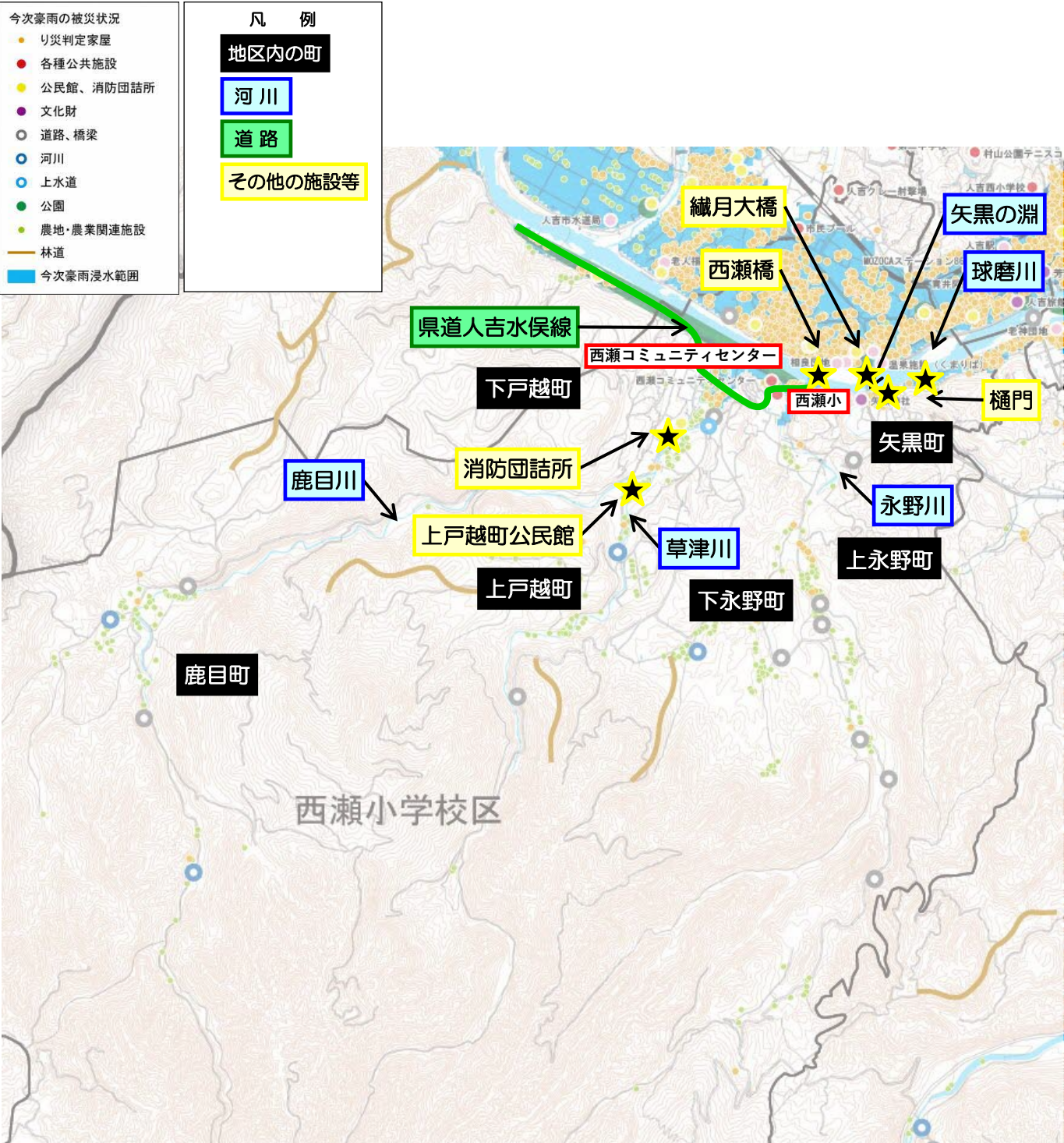
【川北：右岸地区の重点地区（案）への意見】

- ・住民個々の話になるのか、代表者を作っての話になるのか。
- ・これからを担う若者は無視できない。リモート会議の方が集まるより話し合いができるのではないか
- ・町内単位で話合う方が色々な意見（本当の住民の声）が出てくると思う。

西瀬校区の主な課題や要望について	
避難場所	・相良町公民館付近は、球磨川の越水と宝来町の方から流れてきた水で浸かった。【相良町】 ・川からではなく、街からドッと水が押し寄せてきた。【下薩摩瀬町】 ・水の流れ（どちらから来たか）のタイムラインを検証し、復興計画に取入れるべき。【上薩摩瀬町】 ・当日避難しなかった人が多かった。不幸にして町内で5人死亡になり、他にも首まで浸かっていた、木にしがみついていた、屋根に乗っていたという人が大勢いる。自分は市長のアナウンスで避難したので、その後の状況はわからない。【下薩摩瀬町】 ・10～20分で、くるぶしから膝まで水位が上昇した。早かった。【上薩摩瀬町】 ・40年前の7.3水害では、水はうちの所より1m以上で、当時は薩摩瀬に家はなく、国道から向こうは田んぼで雨靴を履いて歩けた。田んぼを水が流れていたが、今は宅地になり建物が堰き止め水かさが増したイメージがある。【上薩摩瀬町】 ・国道が1m以上高く、更に宅地も高いので合わせて1m20～30cmは高くなっているが、今回は1m50cmぐらい水が上がったと思う。【上薩摩瀬町】 ・7月1日は町内広報配布日で、梅雨末期なので大水に注意しようと呼びかけた。【下薩摩瀬町】 ・従来のハザードマップでは、我が家の前は浸水深50cm以下だったが、今回は2m浸水して町内は全滅状態になった。新しく配るハザードマップ（レベル2：想定し得る最大規模の降雨）では、我が家の前は浸水深5m、一番深い所は浸水深20mになっている。【下薩摩瀬町】 ・上薩摩瀬町、下薩摩瀬町から抜けるスポーツパレスへの2本の避難ルート（JA選果場横旧高浜病院前ルートとハローワーク前ルート）は、普段から内水排除が悪い（普通でもふくらはぎ程度まで、ひどい所で膝下まで浸かる）。【下薩摩瀬町】 ・避難判断が遅れ、スポーツパレスへの避難経路が2本とも浸かってダメだったので、隣家の2階に避難した。【下薩摩瀬町】 ・避難ルートが浸かることを想定して、ゆめマートを抜けた。【下薩摩瀬町】 ・スポーツパレスの周りも浸かった。【下薩摩瀬町】 ・スポーツパレスの2階へ上がれとなったが、避難所としてはダメだから人吉二中へ上かれ、人吉二中の台地はシラスだからダメとなり、原田へ逃げるようになった。
避難誘導	・市房ダムの「緊急放流がない」という情報で安心してしまった。【下城本町】 ・緊急放流の有無や刻々の水位、流量などの情報が市民に伝わっていれば、被害状況も変わっていたのではないか。【下薩摩瀬町】 ・雨量は何とも言えないが、市房ダムの放流量は、避難のための情報として球磨川に流れ込む確実な数字として捉えられる。 ・経験から大丈夫という意識を持ち、浸水慣れしていた。経験者ほどその意識が強い。【下城本町】 ・球磨川のすぐ裏に住んでいるが、毎年洪水があり『ここまでは来ない』と洪水慣れしていた。1週間後ぐらいに2度目があった（台風時の避難勧告）が、その時は皆逃げた【上薩摩瀬町】 ・80代の両親は、過去の水害経験から『うちは大丈夫だ』と判断していた。【下薩摩瀬町】 ・『早く避難する』という意識改革が必要。【下薩摩瀬町】 ・年配の人ほど家から離れようとしない。【上薩摩瀬町】 ・下薩摩瀬町の字で『キョウゼ』（ハローワークのあたり）は“島”と呼ばれており、ここが浸かれば全部ダメになる。【下薩摩瀬町】
道路	・新しい西瀬橋がどこを通るのか。計画により立退きの家が発生するかもしれない。【上薩摩瀬町】 ・道路に水が流れないような作りになっており、道から排水路に流す必要がある。【下城本町】 ・青井から宝来堂（市民プール）のあたりは少し高くなっており、道路を堤防のように少し高くして、西瀬校区と西校区を区画してあれば下城本町は浸からなかったかもしれない。【下城本町】

※第2回校區別座談会における参加者による意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

令和2年7月豪雨による被災状況図



※出典：
・り災判定家屋：り災判定（令和3年2月上旬時点）
・各施設：庁内資料（被害報告）
・今次豪雨浸水範囲：八代河川国道事務所提供資料（球磨川本川のみ）

【左岸地区の重点地区（案）への意見】
・他校区の話を書くのも勉強になるため、合同で検討することは問題ない。
・民生委員、消防団、老人会、若い世代、農業関係、事業所の方などに参加してもらった方が良いのでは。
・民生委員は地域の事情を把握している。
・若い世代には、町会長から声をかけることは可能。

項目		西瀬校区の主な課題や要望について
住まいの再建	住まいの被害と状況	- 堤防がいつ頃どういう形でできるのかかわからないと、現地で再建しても大丈夫なのか、再建するかの判断ができない。 - 球磨川沿いで被害を受けたところは空いている家が多いが、既に改修等して住んでいるところもある。【矢黒町】 →今後嵩上げすることもあり得るのかを知りたい。 - 町内の家屋被害は鹿目川沿いの1軒。道路や護岸の被害が多い。【鹿目町】
避難対策	避難場所	- 避難所が西瀬コミセンから西瀬小体育館に移った。早めに避難できる人は良いが、県道人吉水俣線が遮断されると避難ができない。 - 発災当時は全部の橋が通行できなかった。【下戸越町】 →鹿目川の西側で避難場所を確保したい。既存の候補施設では市営住宅の集会所があるが、狭い。 - 上戸越町公民館は鹿目川と草津川の合流地点にあるため、町内会では元々避難場所にはしていなかった。（あと1mのところまで水が来た）【上戸越町】 →空き家を町内の避難場所にしたいが、所有者の了解が取れない。【上戸越町】 - 橋が壊れて2日後まで避難所に行けなかった。山あいでは集落内の頑丈な家の好意で数日滞在させてもらうしかない。【鹿目町】
	避難誘導	樋門の担当職員から夜中に情報を得て、早めに避難を呼びかけることができた。（矢黒排水樋管、矢黒第二排水樋管の担当職員各2名と連絡が取れる態勢）【矢黒町】
	要支援者対策	毎年6月に町内会の福祉部で要支援者の対応を確認している。今次災害を受け、確実に対応できるように、連絡先に携帯電話を追加したり、複数の支援者を決めておくことにする。【下戸越町】
	道路	- 山あいは土砂災害で道路や橋が通れなくなる。 - 道路は、地元の重機を持っている方が啓開作業をした。 - 増水中に土砂撤去作業をしている方がいた。【上戸越町】 - ハード面の復旧対策は行政と連携していきたい。
生業再建	生業再建	- 水路は作付けに必要なところから修復中。 - 井堰の被害について、個人で利用しているものは復旧支援の対象外と言われ困っている。周辺には個人利用のことが多い。修繕しないと営農できない。【鹿目町】 - 川沿いの事業所や店舗が被害を受けた。【矢黒町】
治水	治水	- 支川の治水の話はどう進んでいるか？進捗を共有してほしい。（例：鹿目川、永野川） - 支川も護岸ブロックが壊れたりと被害箇所が多い。 - 西瀬橋はこれで3回目の被災と聞いている。同じ場所で再建するのか？ - 織月大橋に流木等が引っかかり、周辺に影響があった。（矢黒への水流はゆるやかになったが…） - 矢黒の淵は土砂が堆積し、昔に比べて大分浅くなった。球磨川下りも通れない。
復興まちづくり	復興まちづくり	- 空き家5～6軒に球磨村からの転居者が入居した。空き家バンクの情報に頼りに探された。【下戸越町】 - 水害を受けて町内に上がって来られる（住まいを移される）方がいるかと思ったが、動きがない。【上戸越町】
その他	消防団	消防団詰所（第4分団第3部）の立地が危険では。【下戸越町】